



2014年医(医)第2問

2 実数  $a, b, \theta$  に対して, 行列  $A, R$  を以下のように定める.

$$A = \begin{pmatrix} a & -b \\ b & a \end{pmatrix}, \quad R = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$$

また  $xy$  平面内の相異なる2点  $P_0(p_x, p_y)$  および  $Q_0(q_x, q_y)$  を考える.  $0$  以上の整数  $n$  に対し, 行列  $A^n$  の表す1次変換による点  $P_0, Q_0$  の像をそれぞれ  $P_n, Q_n$  とし, 2点  $P_n, Q_n$  間の距離を  $D_n$  とする. ただし  $A^0$  は単位行列とする.

- (1)  $D_0$  を  $p_x, p_y, q_x, q_y$  を用いて表せ.  
 (2) 正の実数  $s$  に対して,  $sR = A$  が成り立つとき,  $s$  を  $a, b$  を用いて表せ.  
 (3)  $D_n$  と  $D_0$  の比  $\frac{D_n}{D_0}$  を  $a, b$  を用いて表せ.

$$(1) D_0 = P_0 Q_0 = \frac{\sqrt{(p_x - q_x)^2 + (p_y - q_y)^2}}{1} //$$

$$(2) sR = \begin{pmatrix} s \cos \theta & -s \sin \theta \\ s \sin \theta & s \cos \theta \end{pmatrix} \text{ より, 成分を比較して, } \begin{cases} s \cos \theta = a \\ s \sin \theta = b \end{cases}$$

$$\therefore a^2 + b^2 = (s \cos \theta)^2 + (s \sin \theta)^2 = s^2$$

$$\therefore s > 0 \text{ より } \underline{s = \sqrt{a^2 + b^2}} //$$

$$(3) (2) \text{ より, } A^n = S^n R^n = (\sqrt{a^2 + b^2})^n \begin{pmatrix} \cos n\theta & -\sin n\theta \\ \sin n\theta & \cos n\theta \end{pmatrix}$$

よって  $A^n$  は原点を中心に反時計まわりに  $n\theta$  だけ回転移動させ,

$(\sqrt{a^2 + b^2})^n$  倍拡大する移動を表す行列なので

$P_n Q_n$  の長さは  $(\sqrt{a^2 + b^2})^n$  倍される.

$$\text{よって } \frac{D_n}{D_0} = \frac{P_n Q_n}{P_0 Q_0} = \underline{(\sqrt{a^2 + b^2})^n} //$$